

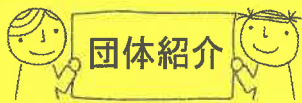
石巻市NPO支援オフィス通信  
月刊 **んぽん舗**  
平成24年12月号 第112号 毎月10日発行

発行日 2012年12月10日  
発行 石巻市NPO支援オフィス  
〒986-0832 宮城県石巻市泉町3丁目1-63  
TEL/FAX 0225-23-3641  
E-mail nposhien@pluto.plala.or.jp  
URL <http://www.ishinomaki-npo.jp/>

□ オフィス開館時間:月～金曜日10:00～20:00 土曜日10:00～18:00 日曜・祝日休館 □

## 《石巻市NPO支援オフィス・年末年始休館のお知らせ》

12月28日(金)～1月4日(金)は休館となります。

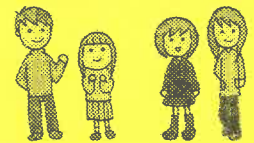


オフィスの新しい登録団体をご紹介します。

### 【登録番号109】 特定非営利活動法人 中国足心道療術師協会

設立年月:2012年6月

活動内容:東日本大震災の避難所や仮設住宅、集会所などで足揉みのボランティア活動  
被災にあわれた方たちへの心身の回復に役立つ足揉みの知識と実践の講義  
家庭で実践できる足揉みレクチャー 等



### 【登録番号110】 特定非営利活動法人 杜の伝言板ゆるる

設立年月:1996年12月

活動内容:宮城県の指定管理者として「みやぎNPOプラザ」及び情報支援サイト「みやぎNPO情報ネット」の  
管理運営、市民活動情報誌「月刊杜の伝言板ゆるる」の発行(10,000部)  
高校生の夏ボラ体験プログラム、NPO訪問バスツアー開催、NPO法人会計講座やセミナー開催、  
東日本大震災後はNPOの募金サイト「復興みやぎ」立上げ 等

### 【登録番号111】 サポート石巻

設立年月:2011年3月

活動内容:他団体や被災者と共に、被災した人々へ早期回復・自立・前向きな気持ちになる活動  
今後は市民が誰でも参加できる催しやリフレッシュ、ワークショップの開催、  
ボランティアコーディネーター、増員活動、現地の情報発信、広報、講演、防災教育等も予定



スワン国際協力の会SWAN(登録番号68)さんの花壇作りに参加  
させていただきました。集まった皆さんと一緒に、宮城交通バス石巻  
営業所そばの花壇に、葉ぼたん、ゴールドクレスト、パンジーの苗、  
チューリップと水仙の球根などを植えました。  
植物がお好きで、栽培の知識をお持ちの参加者さんにアドバイスして  
頂きながら、楽しく作業しました。  
可愛い花壇が出来て、とても嬉しかったです。  
また皆さんとご一緒できたらいいなと思いました。チューリップや  
水仙が咲くのを楽しみにして春を待とうと思います。



本年も大変お世話になりました。来年もどうぞよろしくお願い致します。  
2013年が皆様にとって素敵な一年となりますように・・・。



## 【登録番号64】宮城骨髄バンク登録推進協議会 石巻支部設立20周年記念 「第11回骨髄バンク いのちの輝き展inイオンモール石巻」

11月10日(土) ワーナーマイカルシネマズ石巻にて開催されました。震災直後に石巻赤十字病院で救護班として活躍された、名古屋第一赤十字病院造血細胞移植センター長・宮村耕一さんのミニ講演、朗読ユニットによる手紙の読み聞かせ、女性シンガーの弾き語りライブが行われました。



骨髄移植とは…白血病や再生不良性貧血などの病気によって、正常な造血が行われなくなってしまった患者さんの造血幹細胞を健康な方の造血幹細胞と入れ替える(実際はドナーから採取された造血幹細胞を点滴静注することにより、造血機能を回復させる治療法です。(日本骨髄バンクHPより抜粋)  
ドナー登録が不足していて、適合するドナーが見つからず、移植を受けられない患者さんが多くいらっしゃいます。一人でも多くの患者さんを救うために、一人でも多くのドナー登録が必要とされています。提供できる年齢は20歳以上、54歳以下です。提供にあたっては家族の同意が必要です。骨髄移植・ドナー登録についての詳しい内容はホームページ(「日本骨髄バンク」<http://www.jmdp.or.jp/>)をご覧ください。

患者さんからドナーさんへのお手紙は「ありがとう」の思いがいっぱい詰まっています。ドナーさんから患者さんへのお手紙は、あなたの役に立ててよかった、こちらこそありがとう、どこかですれ違っているかもしれませんね、など、どの手紙もあたたかい言葉が綴られていました。



開催期間中【11月10日(土)～18日(日)】骨髄バンクに関する展示物が掲示されました。  
「あやちゃんの贈り物展」白血病の治療中の女の子が描いたたくさんの絵を展示。  
「さっとの笑顔写真展」白血病によりわずか3歳2ヶ月で天使になったさとしくん。つらい闘病生活でありながらも、家族と過ごした笑顔の日々を、お母さんの綴った日記・メッセージとともに紹介。  
「マモのメッセージ展」白血病のため17歳という若さでこの世を去った小野寺守君が闘病中に書き綴り、苦痛を吐き出し、自らを励まし続けた心のメッセージ。  
「患者さんとドナーさんの声」骨髄バンクを通じて元気になった患者さんと骨髄液を提供されたドナーさんの声。



## おもてなしセミナー～大震災学びの案内「伝えたい思い」～ 講師：【登録番号83】石巻観光ボランティア協会三代目会長・斎藤敏子氏

11月13日(火) 石巻商工会議所にて開催されました。石巻観光ボランティア協会会長・斎藤敏子さんが、どのような内容でご案内されているのか、ご案内する時のポイント、ご自身のお気持ちなどをお話して下さいました。



石巻観光ボランティア協会さんは、観光案内所の設置、イベントのお手伝い、石巻の魅力を再発見するツアーの企画など、観光に関する様々な活動をされてきた団体さんです。震災後は今までの案内とは方向性を変え、「大震災学びの案内」と題した被災地案内をされています。  
始められたきっかけは、石巻市内を一望できる日和山での清掃活動。訪れた多くの方によって手向けられた花(枯れた後)の清掃が大変だと知り、団体で清掃を始め、清掃時に被災時の様子について話し掛けてくる方とお話していたそう。ただ見てお帰りにするより、きちんと震災のことをお伝えした方がいいのではないか…と思い始め、訪れた熱心な方にぜひ被災地案内をしてほしいとの声掛けが後押しとなり、被災地案内をしっかりと始めようと決意されました。

「この歩道橋には当時たくさんの方が避難され、一晩大変不安な気持ちで過ごされたんですよ。」「被災された木の屋(石巻市の水産加工会社)さんは、またこの場所で再スタートするそうです。これも皆さんの応援のおかげなんですよ。」と、感謝の気持ちも一緒に伝えながら、丁寧にご案内。ご案内した方の中には、体力的なボランティアはできないから、石巻で買い物や食事をして、復興のお手伝いしたいと足を運んで下さるご年配の方も。案内する際は、笑顔で大事にお迎えすること、語りかけるようにお話すること、お客様はどちらから訪れたのか聞いたり、自分の震災時の体験も入れてお話すると良い(長すぎるのはNG)とのことでした。

被災地案内を始めることに戸惑いを感じたり、批判を受けたり…。いろいろな複雑な想いを抱きながらも、被災地を知りたいとお越しになる方々に「震災を風化させない。防災の大切さを学んで、それぞれしっかり命の避難をしてほしい。被災地を知ることは皆さんとのつながりの第一歩。石巻の復興をこの先も見守って下さい。ぜひまた来て下さい。」との想いでご案内される斎藤さん。活動経緯やご自身の想いを拝聴でき、大変有意義な時間でした。



## 【登録番号96】EMエコクラブみやぎ「河川浄化活動-EM団子投入-」



11月21日(水) 河川へのEM団子投入の様子を取材致しました。EM団子を投入したのは、石巻市立貞山小学校・四年生の皆さん。これまでに郊外学習として、EM団子作りなどを行い、EMエコクラブみやぎさんや、町内会の方々と一緒に活動されてきたそうです。

EM団子は、土+EMボカシ+EM活性液を混ぜて丸くし、乾燥させたもので、表面は菌糸で覆われ、白くなります。(白くなくても、しっかり硬くなっていれば大丈夫とのこと)河川へ投げ入れると、川や海の底に沈んで、ヘドロなどを徐々に分解する効果があります。途中で河川へEM団子を投げ入れながら、川沿いを歩きました。もう一つ郊外学習として、国土交通省の方による、国の重要文化財に指定されている「石井閘門」の説明と、開閉作業の見学がありました。

EMエコクラブみやぎの及川さんは「地域の皆と一緒に活動することは、環境浄化だけでなく、地域の防犯・コミュニティにつながる。こういった活動がもっと広がるといい。」と仰っていました。町内会長さんに昔の川の様子について話を聞く生徒の姿も見られ、コミュニティと共に、子ども達の良い学習にもなっていました。EM団子作りにはお母さん方も多数参加され、地域の方々の交流活動になっているようです。今回の活動中、子ども達がとても楽しそうにしていたのが印象的でした。



↑EM団子

↓投入!



～各団体の皆様、どうもありがとうございました～